



田おこしと、ザリガニ釣り と「溶連菌」

H20.4.19・20・22



手前は、向台小学校5年生が作っています。その奥が牛久4団の田んぼです。土曜日に地主さまとM副長で耕しました。



日曜日は、ボーイ隊長と合流して、作付け面積を倍(約50m)に広げましたが、長年休耕田だったので、それはそれは、極度の筋肉痛になったは言うまでもありません。



ザリガニ初釣果は、3人で小1時間で83匹。場所は北竜台公園の池。昨年のこの時期は、真っ赤な大型が多かったのですが今年の成長度はいまいちである。



騒ぎ疲れて車で寝てしまった、我が家のビーバースカウト。良くこんな格好で寝れるもんだ。



会社の手続きで、茨城県庁に行って見かけた車。なんだこりゃ？アメ車の「ハマー」かと思いきや、TOYOTAのメガクルーザーだそう。かっこいいー！欲しいー！1000万円するらしい。

M副長は溶連菌感染症(ようれんきん)に感染してしまいました。*溶連菌感染症とは*A群β溶血性連鎖状球菌という細菌がのど(咽頭、扁桃腺)に感染して、のどの痛みや熱がでます。熱は治療しなくても、自然に下がることがありますが、1-2週間後に再び熱発します。時には、体や手足の発疹などがでることもあります。発疹は紅斑様で、かゆみをとまいません。舌がいちごの表面のようにぶつぶつになったりします。1週間くらいしてから、手の指先から皮が捲れることがあります。飛沫(唾液から)でうつりますので、近くでしゃべることです。潜伏期間(うつってから症状が出るまで)は2-3日です。2-3才から小学校低学年くらいまでが罹りやすく、流行は、11-3月くらいが毎年多い季節です。溶連菌感染症のひどいのが<しょう紅熱>です。抗生剤のなかった昔は、なかなか手ごわい病気でした。若草物語や大草原の小さな家のなかでも、恐ろしい病気として取り扱われています。幼児が罹る病気とは、情けなや。金曜日から月曜日まで会社を休んでしまった。でのなぜか、田おこしとザリガニ釣りはやっている。仮病との噂がありますが、抗生剤と根性で乗り切った次第です。それにしてもノドは痛いわ、熱は出るわ、眠いわで、最悪でした。よって今回はあっさり仕立の報告です。